



バドミントン S/Jリーグ2024

TOP4 Tournament

2/21(金)-2/22(土) 横浜BUNTAI



最高峰リーグの優勝決定戦

チーム「日本一」が横浜で決まる！



ローチケ購入サイト



S/Jリーグ 大会ページ



BIRDSCORE 速報サイト

目 次

■アリーナ情報

- 2 アクセス
- 3 スケジュール・対戦
- 4 座席図
- 5 会場図・ブース情報
- 7 イベント情報



■選手紹介

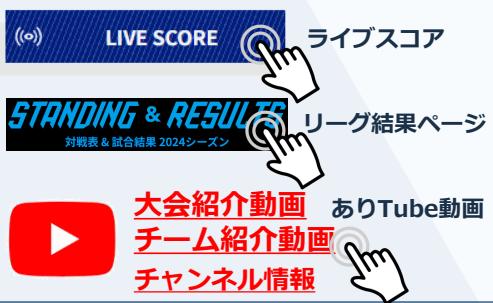
- 8 選手名鑑（リンク）

■大会展望

- 9 男子展望
- 10 女子展望



クイックリンク



ACCESS

横浜BUNTAI

〒231-0032
神奈川県横浜市中区不老町2丁目7番1

JR京浜東北 / 根岸線
関内駅南口下車 徒歩6分

横浜市営地下鉄
伊勢佐木長者町駅下車 徒歩4分
関内駅下車 徒歩8分





スケジュール・対戦

スケジュール

対戦カード

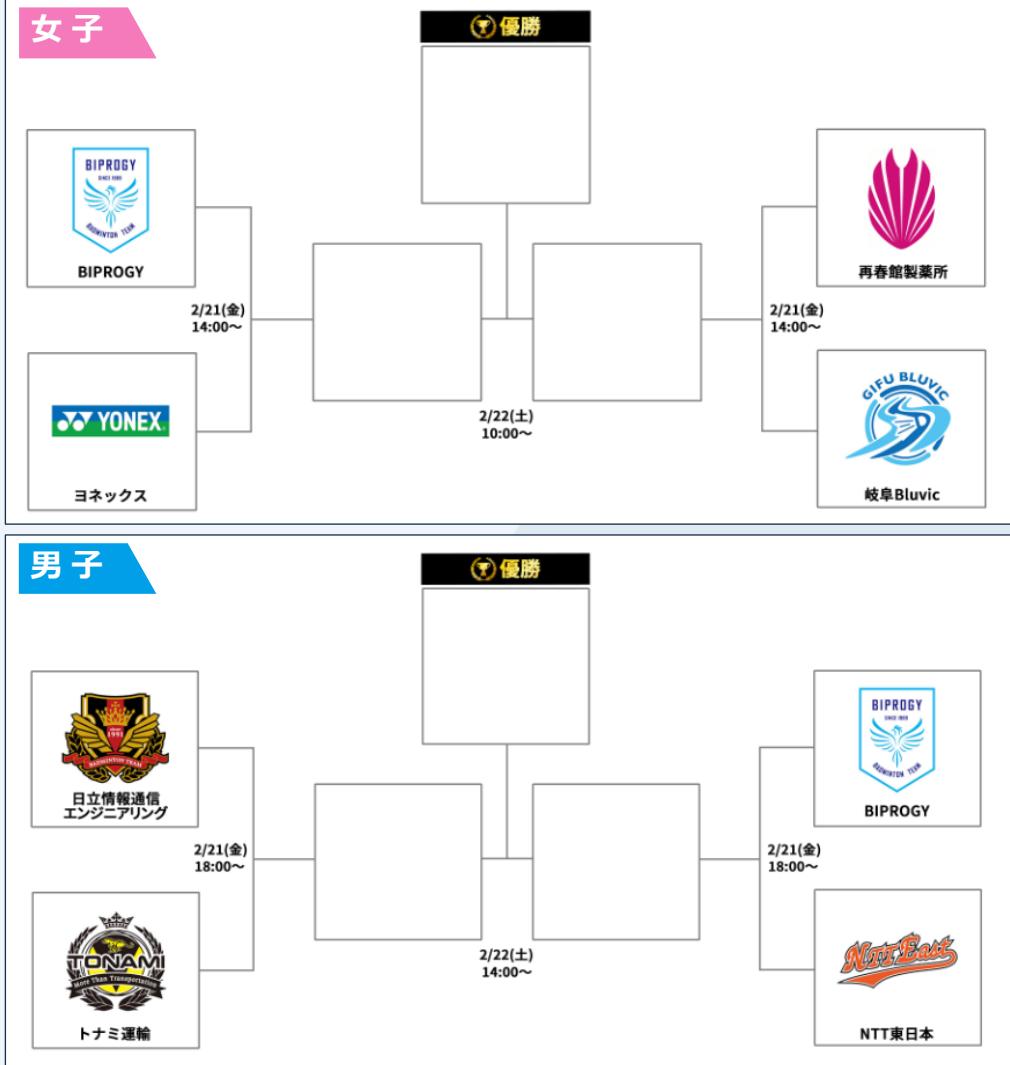
■2.21(金) 準決勝・残留決定戦

9:00	開場
10:00	残留決定戦 1コート 女子 2コート 男子
14:00	女子準決勝 1コート 再春館製薬所 VS 岐阜Bluvic 2コート BIPROGY VS ヨネックス
18:00	男子準決勝 1コート 日立情報通信 VS トナミ運輸 2コート BIPROGY VS NTT東日本

■2.22(土) 決勝戦

9:00	開場
10:00	女子決勝戦 表彰式
14:00	男子決勝戦 表彰式

Tournament



残留決定戦



シーズン結果

対戦結果・対戦表・順位表

STANDING & RESULTS
対戦表 & 試合結果 2024シーズン





座席図

■ 2.21(金) 準決勝・残留決定戦



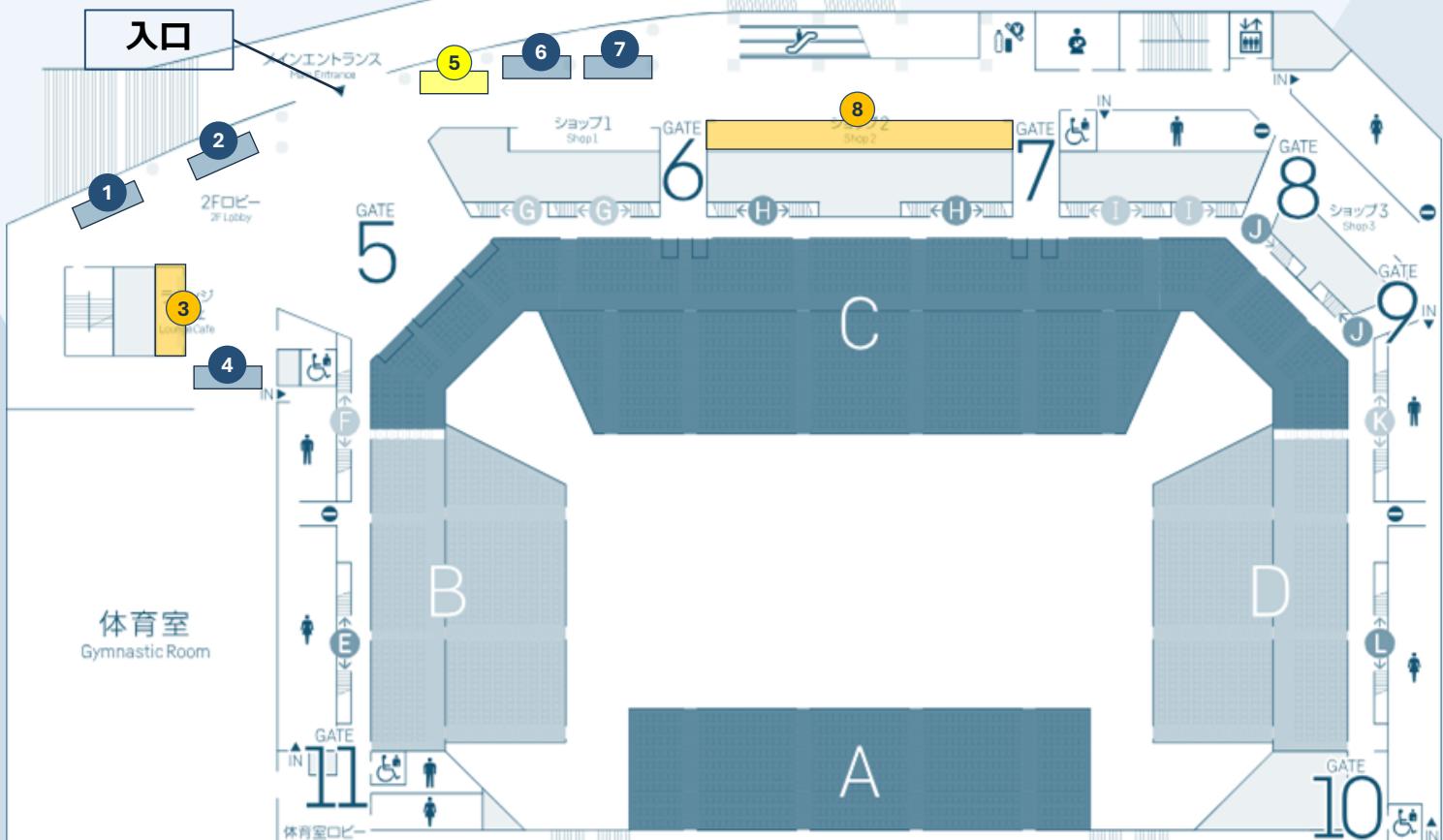
■ 2.22(土) 決勝戦





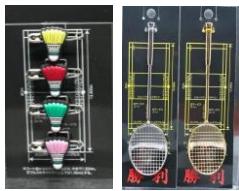
館内図・ブース情報

2F ブース



CONTENT

4 Café LOVEALL



5 ファンクラブブース (チアホン・特典Tシャツ引換)



6 ラケットショップフジ

バドミントン用品等販売!

FOODIES STAND



¥1,200

HOT DOG

¥800

HOT SNACKS

¥500

フランクフルト

¥500

ポテト

¥500

ポテト & ハヤシライス

¥800

梅や唐揚げ(5個)

¥700

梅や唐揚げバーレル

¥1,700

SOFT DRINKS

¥500

コカ・コーラ

¥500

カナダドライジンジャーエール

¥500

スプライト

¥500

カルピス

¥500

ミニッツメイドオレンジ100%

¥500

ジョージアディープロースト

¥500



¥1,100



¥2,500

LUNCH BOX

尾島商店 濱吟焼豚弁当 ¥1,500

SNACKS

美濃屋あられ 横浜麻婆坦々 ¥350

美濃屋あられ 横浜ビア棒 ¥350

濃屋あられ 横浜ナポリタン ¥350

メープルワッフル ¥300

ALCOHOL

BUNTAI 横浜グリーヴィーラガー ¥900

サントリーブレミアムモルツ ¥800

7 アイベックススポーツ

商品例

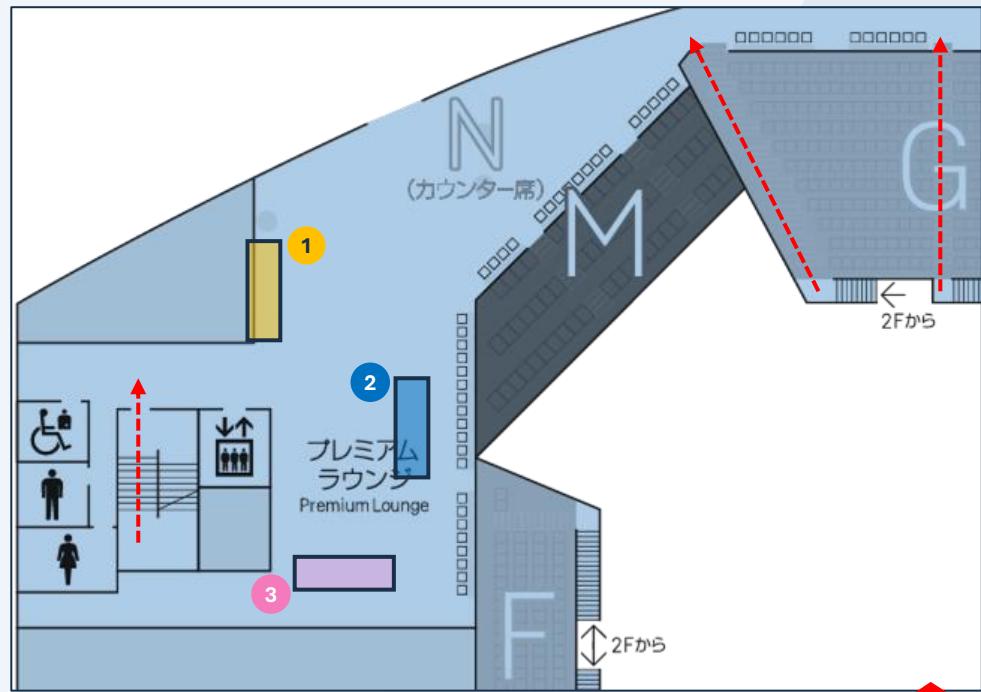




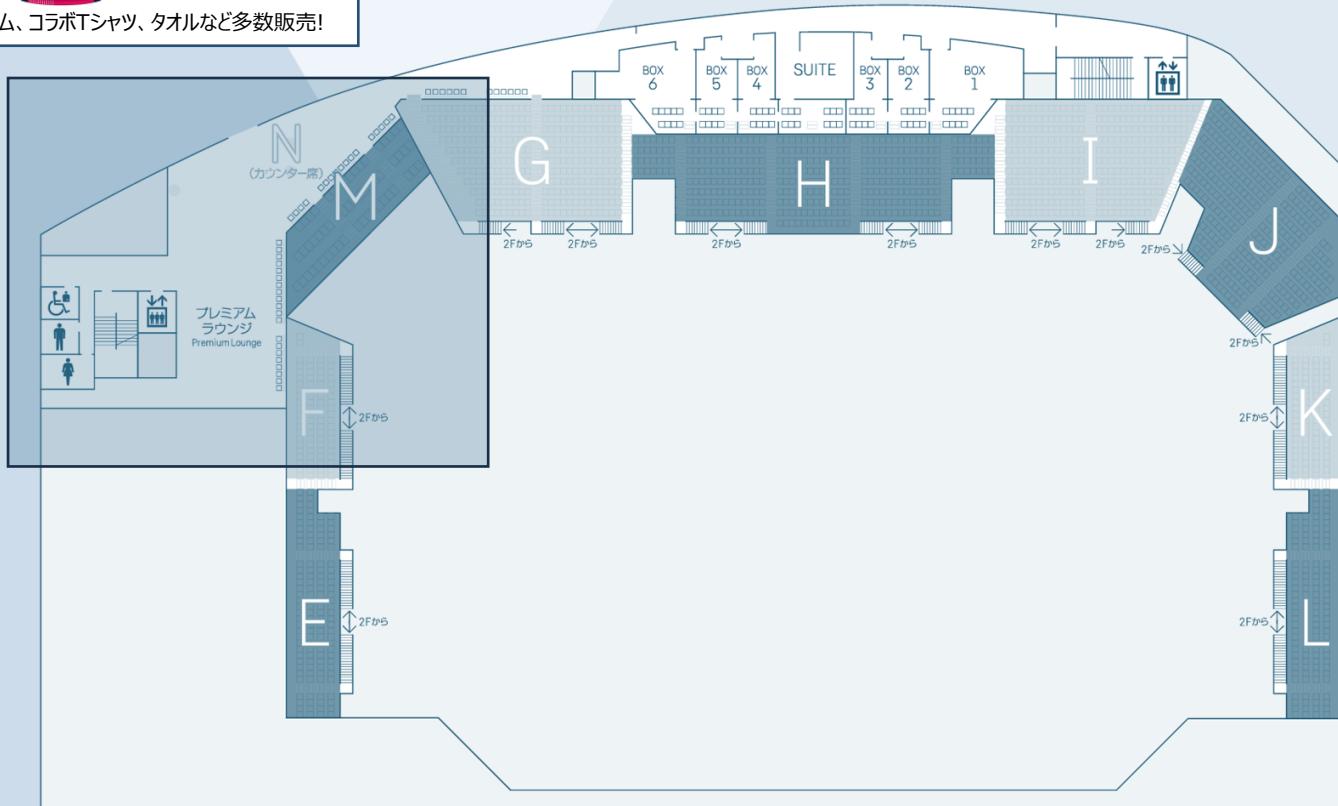
館内図・ブース情報

3F ブース

- 1 NTT東日本ブース
 - 2 岐阜Bluvicブース
 - 3 再春館製薬所ブース



※勝ち上がりにより、21日（金）のみの出店となるチームブースがございます。





イベント情報

01 会場で参加型投票実施 !!

会場で投票しよう!
両日実施!



Player of the Match 投票実施 !!



「その日の試合で最も印象に残った選手」を決める投票です。

【POMの投票方法】

- ①各会場にあるポスターのQRコードから、日本バドミントン協会の公式LINEを友だち登録する
- ②トーク画面でポスターに記載されている「キーフレーズ」を送信する
- ③投票画面の案内に従って投票する

02 場内ライブ音声解説実施 !!

場内生解説 質問機能付き ! 当日販売あり

出演者 ゲスト決定 !!

刈田 圭太
(日本バドミントン協会)

メイン解説
・オリンピック出場
・全日本総合優勝多数
・元トナミ運輸選手

井上 拓斗
(BIPROGY)

男子決勝解説
・元日本代表 (男子複)
・ジャパンOP準優勝
・元BIPROGY選手

緑谷 菜留
(NTT東日本)

女子決勝解説
・元日本代表 (混合複)
・世界選手権銅メダル
・全日本総合二連覇

音声配信プラットホーム「CHEERPHONE」(チアホン)で豪華コメンテーターの解説をリアルタイムに配信します!

HOW TO



※ご自身でイヤホンをご持参ください
※サービスをご利用いただく際発生する通信費用はお客様ご自身のご負担となります
※携帯端末を十分に充電した状態でご来場ください。モバイルバッテリー等の予備充電器もご準備ください

03 公式アンバサダー決定 !!

Badminton Labo AriTube X BADMINTON SJ LEAGUE

大会当日MCを担当
「ありTube」にて
PR動画配信中 !!

TOP4 Tournament 公式アンバサダー
『Ari』

バドミントン系YouTuber「ありTube」が大会の盛り上げをサポート!!

大会当日MCで会場を盛り上げます!
大会PR動画を投稿中!

大会紹介動画
チーム紹介動画
チャンネル情報

＜ありTube概要＞
チャンネル登録者数 4.32万人
神奈川県出身
インターハイ、インカレ出場

選手名鑑



ロゴをタッチで
名鑑ページにリンクします

Tournament

男子



女子



残留決定戦

男子



女子



TOP 4 TOURNAMENT

男子展望



Sブロック1位 日立情報通信エンジニアリング



Sブロック2位 NTT東日本

▲悲願の初優勝を狙う日立情報通信エンジニアリングは、5戦全勝でブロックリーグを突破。エースに成長した霜上（左）／野村がチームを引っ張り、勢いよく頂点にたどり着けるか

▲ブロックリーグでは日立情報通信に敗れたものの4勝を挙げてTOP 4へ。田中を筆頭に強力なシングルス陣と、力のある若手が揃うダブルス陣で頂点をめざす



Jブロック2位 トナミ運輸



Jブロック1位 BIPROGY

▲2年ぶりの優勝を目指すトナミ運輸は、ブロックリーグ4勝1敗で2位通過。チームの大黒柱である保木（左）／小林を中心に、チーム一丸で王座へと返り咲けるか

▲ブロックリーグ5戦全勝を果たしたBIPROGY。4試合で第1ダブルスを務めた三橋（右）／岡村がTOP4でもチームをけん引し、チームを優勝へと導きたい



総力で勝利をつかみ取れ！



日立情報通信エンジニアリング VS トナミ運輸

初優勝を目指す日立情報通信エンジニアリングは、Sブロックで5戦全勝。加えて、失マッチも0と安定感が光った。そのなかで、ダブルスは霜上雄一／野村拓海と松居圭一郎／玉手勝輝がともに4勝を挙げてチームをけん引。シングルスでは、牧野桂大が3勝をマークしている。

トナミ運輸は、ブロックリーグでライバルBIPROGYに敗れて4勝1敗の2位。ブロックでは、保木卓朗が小林優吾や目崎駿太郎とのペアで4勝を挙げてチームを支え

た。第2ダブルスは金子真大／大田隼也が3勝1敗。シングルスは日本代表の高橋洸士を中心に、3選手で4勝と層も厚い。

日立情報通信エンジニアリングとしては、安定感のあるダブルスの勝負で優位に立ちたいところ。一方で、トナミ運輸は実績で分があるシングルス陣と、エース保木／小林の起用で勝負を決めていくか。

BIPROGY vs NTT東日本

Jブロックを5戦全勝、失マッチ0で突破したBIPROGYは、日本代表の三橋健也／岡村洋輝が第1ダブルスで4勝と活躍。また、シングルスでは沖本優大、ダブルスは熊谷翔／西大輝などの若手を積極起用し

ながらも、その若手が期待に応える活躍を見せてチーム力の高まりを感じさせた。

Sブロック2位のNTT東日本は、シングルス陣がブロックで3勝に終わったものの、奈良岡功大と田中湧士、桃田賢斗と豪華なメンバーが揃う。ダブルスもブロック3勝の山下恭平／緑川大輝ほか、元日本代表の古賀輝も控えるなど高いレベルにあり、2複1単のどこでも勝負ができる布陣だ。

ブロックリーグには出場しなかったが、BIPROGYには五輪2大会連続メダル獲得の渡辺勇大もいて、TOP 4ではダブルス陣をさらに強化して勝負に来るか。NTT東日本としては、シングルスで白星を獲得して、ダブルスがチームの勝利を決めたい。



▲岐阜Bluvicはレゾナックと勝ち点3で並んだが、取得マッチ数で上回ってTOP 4に進出。福島（左・右は川添）をエースに据え、チーム全員で勝利を勝ち取った。



Sブロック1位 BIPROGY

▲プロックリーグ4勝1敗で1位通過を果たしたBIPROGYは、中西（右）／岩永など豊富なダブルス陣がチームをけん引して、連覇を果たせるかに注目だ



▲パリ五輪銅メダルの志田（左）／松山に、シングルスは山口茜と単複に強力な柱を持つ再春館製薬所。プロックリーグ全勝の勢いのまま頂点へと駆け上がりたい



▲仁平などのシングルス陣に加えて、ダブルスでは櫻本を軸にペアを組み替えながらも勝負強く戦い抜いてプロック4勝。2001年大会以来のリーグ制覇なるか



VS



頂を目指して—

BIPROGY vs ヨネックス

BIPROGYは中西貴映／岩永鈴と大竹望月／高橋美優に加え、五輪メダリストの五十嵐有紗といったダブルス陣がチームを支えて、Sブロックで1位通過を果たした。また、シングルスではエースの杉山薫のほか、内定選手の砂川温香も2試合に出場して2勝をマークしている。

一方でヨネックスは、シングルスの仁平菜月と高橋明日香の2人を軸に、ダブルスは櫻本絢子と保原彩夏の日本代表2名が、パートナーを変えながらもしっかりと白星を挙げてチームの勝利に貢献。チームの総

合力で4勝1敗の成績を残し、Jブロック2位に入った。

エース同士の対決となれば、両チームのシングルスの実力は伯仲しているだけに、第1ダブルスが白星をつかみ取って、残る2対戦に向けて良い流れでバトンを渡したい。

再春館製薬所 vs 岐阜Bluvic

Jブロック1位の再春館製薬所は、エースである志田千陽／松山奈未と山口茜だけではなく、シングルスでは郡司莉子と明地陽菜、ダブルスは金廣美希／木山琉聖などの若手が活躍してプロック全勝。エースに頼らずとも勝利を挙げるなど、チームとし



VS



ての成長を示した。

得失マッチ差でレゾナックを上回って2位に入った岐阜Bluvicは、シングルスで全試合に出場した古川佳奈が4勝と奮闘。ダブルスもエース福島由紀と川添麻依子のペアが3勝を挙げるなどした。プロックでの2敗は単複の勝ち星がかみ合わなかったカタチだが、選手の力は確か。

再春館製薬所は層の厚いシングルスなど、どのようなオーダーで大一番に挑むのかに注目。また、岐阜Bluvicとしては、福島を中心とした戦力がチーム一丸で臨み、再春館製薬所が要する強力なエースを打ち崩せるか。